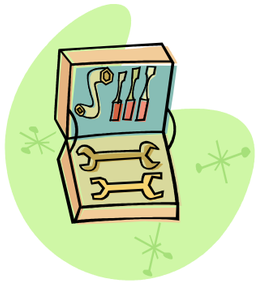
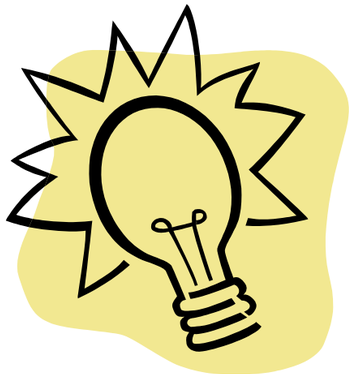
学校奨励賞　神戸小学校・明生小学校



入賞作品を含め、優れた作品は
「三重県発明くふう展」に出展します。
日程：令和６年１０月５日（土）～１０月６日（日）
９時３０分～１６時３０分まで
会場：津リージョンプラザ３階　展示室
（津市西丸の内２３番１号）
主催：三重県発明協会

鈴鹿市産業振興部産業政策課
ものづくり産業支援センター
〒513-8701
鈴鹿市神戸一丁目１８番１８号
鈴鹿市役所別館第３　２階



２０２４入賞作品一覧

第４５回
鈴鹿市民アイデア展

とき
令和６年９月２０日（金）～２２日（日）
（最終日２２日は１７時まで）

ところ
鈴鹿ハンター１階センターコート

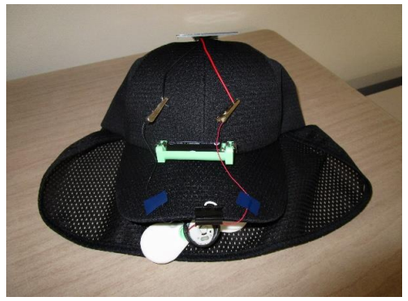
主催
鈴鹿市

後援
鈴鹿商工会議所
鈴鹿ライオンズクラブ
一般社団法人鈴鹿青年会議所
一般社団法人三重県発明協会
鈴鹿少年少女発明クラブ

工夫･考案の部

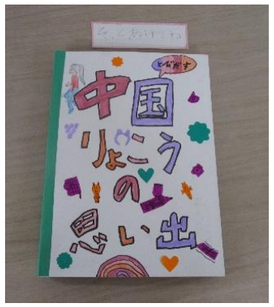
科学的な考えやアイデアを活かして作りだした作品

○最優秀賞



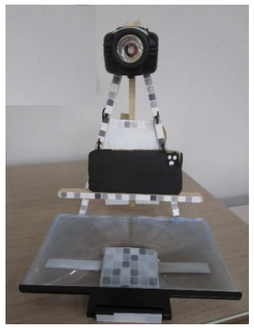
暑さ撃退帽子
加佐登小学校4年　佐野　藍梨
●作品説明
おじいちゃんの畑仕事用に、暑さ撃退帽子を作りました。帽子の上にソーラーパネルをつけてあり、太陽の光があたると、電気が流れて、せん風きがまわります。くもりの日は、かん電池につなぎかえます。羽根に、ハッカ油をつけてあるので、虫もよってきません。

○優秀賞



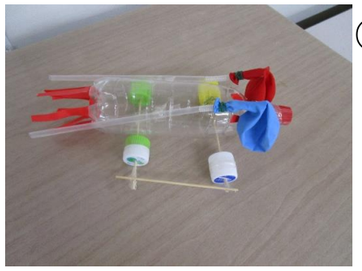
中国りょこうのとびだすえほん
明生小学校2年　桂原　伶奈
●作品説明
おとうとのえほんを見て、私も作ってみたいと思い、とびだすえほんを考えました。かいたえがうまく立ち上がらなくて、お父さんに作りかたをおしえてもらい、何回も失ぱいをくりかえしては、直しながら作りました。

○鈴鹿少年少女発明クラブ会長賞



おばあちゃんのためのスタンド
神戸小学校6年　小橋　七海
●作品説明
私のおばあちゃんが小さい文字が見えにくくルーペを使ったり裁ほう針に糸を通すのに困っていたので両手が使えるスタンドを作りました。スマホスタンドにもなります。

○三重県発明協会会長賞



空気の力で動くペットボトルカー
鼓ヶ浦小学校4年　阿路思
●作品説明
電気やガソリンを使ったらCO2が排出されるので、だから、CO2の出ない空気の力で動く車を作りました。苦労した所は、タイヤの穴をあける所がむずかしかったです。よりたくさん動くように、風船を二こにした所を工夫しました。

○鈴鹿ライオンズクラブ会長賞

でんどう 上ぐつ あらいき
明生小学校3年　藤田　真帆
●作品説明
毎週上ぐつをあらうのがたいへんだったので、自動であらってくれる道ぐがあったらいいなと思ってつくりました。せんたくネットにけ糸を1つ1つむすぶのが、とてもたいへんでした 。

○鈴鹿青年会議所理事長賞

きつつきくん
庄内小学校6年　小笠原　凛空
●作品説明
工夫したところは、じしゃくのS極とN極のとくせいを生かしたところです。

○鈴鹿ハンター賞

ダンボール金庫
神戸小学校4年　加藤　玲那
●作品説明
苦労した点はとびらで、中のそうちまでこだわりました。番号がちゃんと合わないと開かないのでとびらが1番苦労しました。

○鈴鹿商工会議所会頭賞

宇宙エレベーター
神戸小学校3年　片山　湊人
●作品説明
うちゅうエレベーターというのり物をつくる計画があることを知り、工作で作りました。
＜工夫したところ＞空気が強く出るように、ホースの吹き出し口につめものをしたこと。
＜苦労したところ＞人工えい星が、うまくうかぶように、じしゃくの使い方をいろいろと何回もためしたこと。
＜努力したところ＞地球の絵の具が、にじまないように、ニスをていねいに2回ぬったこと。

絵画の部

子どもの持っている未来への夢を描いた作品

○最優秀賞

生き物が考えていることを見ることのできるレンズ
石薬師小学校5年　久保田　なずき
●作品説明
我が家に子犬が来てから今もなお、「えっ、どうした？何？」と思い困ることが多いです。そこで、動物の考えていることが見えるものがあれば、もっと動物によりそえて、優しく仲良くできるのではないかと考えました。

○優秀賞

トンボ型 飛行機
一ノ宮小学校5年　岡田　光生
●作品説明
虫の特技を活かしたのり物を作りたいと思い、考えました。むずかしかったところは、未来感を出すところです。トンボの特ちょうを活かしたこの飛行機は、
・かっ走路は不要で少ないスペースで、り着陸できる
・飛行機だけどヘリのようにホバリングできる
・音速で移動

○入　賞

深海の気球のりたいな
明生小学校3年　中山　咲乃
●作品説明
わたしのすきな深海生物、リュウグウノツカイとキンメダイとダイオウイカの気球をかきました。この気球は空ではなく深海をとんでいるのです。ダイオウイカの気球はゆれたりイカがつついたり、おもしろくかきました。

○努力賞

未来が見えるゴーグル
井田川小学校3年　小倉　琴葉
●作品説明
ゴーグルのまわりに自分がこんなふうになってほしいという未来の絵をくふうしてかきました。どりょくした所は色をどのようにつかうか考える所です。くろうした所はこまかいもようをていねいにぬることです。

○努力賞

わりばしコースター
神戸小学校4年　伊藤　充希
●作品説明
わりばしコースターは、わりばしの上にビーダマを転がします。コースターには、努力や工夫をした三つの仕組みがあります。一つ目は、トンネルです。ペットボトルを切って、レールにはり付けることでトンネルができます。二つ目は、第二のビーダマです。わりばしをレールにはさんで、おしたら第二のビーダマが動きます。三つ目は、穴です。ペットボトルを切ってそれをせっちすればビーダマが、穴へ行きます。